

国立大学病院インターネット会議システム(UMICS)の運用開始について

国立大学附属病院長会議では、平成 20 年 6 月より、国立大学病院インターネット会議システム (University hospital Medical Internet Conference System: 略称 UMICS) の運用を開始しました。

本システムは、国立大学病院同士の会議だけでなく、国立大学病院の教育・研究・診療・病院業務に関係した会議・講演などであれば、一般病院、民間企業も利用可能です。なお、セキュリティ保護も十分に考慮されたシステムとなっています。

運用開始にあたり、本システムは、大学病院医療情報ネットワーク(東京大学医学部附属病院内)にサーバを設置していますが、利用の拡大にともない各国立大学病院においても同システムの導入が可能となるよう配慮されています。

今回のシステム導入によって、国立大学病院間の連携協力が推進されると同時に、地域医療機関や臨床研修の支援などの充実化に向けた積極的な利用が期待されます。

【背景】

慢性的な医師不足が顕在化している現在、限られた人員が限られた時間の中で効率的に、地域医療・研修支援を行い、研究、診療、教育のために必要な各種の会議、説明会、講演会などを実施していくニーズが非常に高くなっています。このため、国立大学附属病院長会議常置委員会では、インターネット会議システムを導入して、これらの充実を図るとともに、併せて経費の削減を図ることにしました。

また、流通しているインターネット対応テレビ会議製品はそれぞれに仕様が異なるため、各国立大学病院で別々の製品を導入した場合は、スムーズな相互運用が非常に困難になることが予想されます。このため、今回の導入にあたっては国立大学病院として標準で用いるインターネット会議システムを選定することにしました。

【導入する会議システムの概要】

今回導入するインターネット会議システムは、エイネット株式会社の Fresh Voice という製品です。利用期間は 5 年を予定しており、その契約内容には、下記の特徴があります。

1. 無制限クライアントライセンス

インターネット会議システムの入札の仕様策定にあたっては、各大学病院で使いやすいように、接続可能なインターネット会議クライアントライセンス数を無制限とすることを必要要件としました(ただし、同時に接続可能なクライアント数は 50 に制限されています)。これによって、どの施設からでも簡単に利用が可能となります。

2. 国立大学病院と他医療機関などとの連携

国立大学病院が 1 つ以上参加していれば、他の大学、医療機関、民間企業も利用できる仕組みとなっています。国立大学病院と地域の医療機関との共同カンファランス、国立大学病院による地域の医療機関の医療支援、国立大学病院と連携する研修病院との合同研修会、共同研究・治験の打ち合わせなどの幅広い目的で活用が可能です。

3. ネットワークの拡充への対応

当初、大学病院医療情報ネットワーク(東京大学医学部附属病院内)に 1 台のサーバが導入されますが、他の 42 の国立大学病院も同じ価格・条件で各々 1 台ずつ追加購入できる契約になっており、利用件数の拡大に対応できる仕組みとなっています。

4. セキュリティ対策

国立大学病院間や他医療機関との連携の際に重要となるセキュリティ対策としては、ID とパスワード保護によるユーザー認証、HTTP と SSL ポートのみを使用した暗号化通信、クライアントの接続元が確認できる通話ログ、会議で使用した共有データをサーバに残さない仕組みなど、外部に会議情報が漏れないようにしています。

【今後の展望】

本システムの導入によって、国立大学病院間の連携協力が推進されるだけでなく、国立大学病院と地域医療機関や研究機関などとの連携による適切な診療システムの構築や研修・研究体制の充実など、医療におけるコミュニケーションの充実がもたらす効果は大きいものがあります。

【参考】

■国立大学附属病院長会議 常置委員会

全国 42 の国立大学に設置された附属病院(医学部附属病院、歯学部附属病院、研究所附属病院)の病院長で構成される「国立大学附属病院長会議」の下に設置される委員会で、各地区(5 地区)から選出された病院長、全国会議の当番大学病院長などで構成する常設の委員会。この常置委員会の下に様々な課題毎に担当する病院長を置き、国立大学病院の直面する課題について検討を行っている。

■大学病院医療情報ネットワークセンター

国立大学病院の共同利用施設として東京大学医学部附属病院に設置された組織で、各国立大学病院間を中心とした情報ネットワークの業務を担っている(<http://www.umin.ac.jp/>)。本年、20 周年を迎える。

■エイネット株式会社

1997 年に設立し、ソフトウェア開発とネットワーク構築サービスを提供している。2001 年にインターネット TV 電話を自社開発し、2003 年には企業向けインターネット会議システム「Fresh Voice」の販売を開始する。「Fresh Voice」は、現在までに官公庁・大学・法人企業など、1000 社を超える導入実績がある。

《広報に関するお問合せ先》

東京大学医学部附属病院 パブリック・リレーションセンター

電話:03-5800-9188(直通) E-mail: pr@adm.h.u-tokyo.ac.jp
